

学校 番号	48	学校名	足立区立中川小学校
----------	----	-----	-----------

令和6年度 学校図書館基本計画

足立区立中川小学校 校長 土屋和弘

1 学校教育目標

『輝け中川の子』【かしこく】【つよく】【あたたかく】

「かしこい子」を重点目標とし、「つよい子」「あたたかい子」の育成のため、認め、励まし、価値付ける営みで自尊感情を育み、主体的に取り組む態度の醸成を図る。

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に着けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 10,939冊 (国基準冊数 8,460冊・足立区基準冊数 8,541冊/12学級)									
	② 新規購入図書 570冊/廃棄図書 418冊/増減冊数 152冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.6%	1.4%	9.3%	8.0%	12.2%	6.6%	4.4%	9.2%	3.1%	44.1%
※国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用状況	① 開館時間：授業時、中休み（火・金）、昼休み（月・火・木・金） ② 児童一人あたりの年間貸出冊数 32.4冊（前年度：26.5冊） ③ 一か月に2冊以上読む児童 62.8%									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。	① 各クラス週1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間を利用して、年間一人あたり1000ページまたは15冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを必ず全学級が実施する。

第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス週1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間を利用して、年間一人あたり1000ページまたは15冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを必ず全学級が実施する。

第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、多様なジャンルから本を選んだり、それに関連する本について読書したりすることができる。 ② 事典や図鑑等から分かったことをまとめ、みんなの前で発表することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 読書月間を利用して、年間一人あたり2000ページまたは20冊以上の本を読む。 ② 学校図書館を利用した調べ学習に関連する授業を1回以上行い、調べる学習コンクールに参加できる作品まで仕上げる児童が60%を目指す。 ③ 各クラス週1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。

第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味なかった本についても読書することができる。 ② 事典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 読書月間を利用して、年間一人あたり2000ページまたは20冊以上の本を読む。 ② 学校図書館を利用した調べ学習に関連する授業を1回以上行い、調べる学習コンクールに参加できる作品まで仕上げる児童が65%を目指す。 ③ 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。

第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。
	② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。	① 読書月間を利用して、年間一人あたり3000ページまたは25冊以上の本を読む。
② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。	② 学校図書館を利用した調べ学習に関連する授業を1回以上行い、調べる学習コンクールに参加できる作品まで仕上げる児童が70%を目指す。
③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	③ 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。

第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。
	② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。	① 読書月間を利用して、年間一人あたり3000ページまたは25冊以上の本を読む。
② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。	② 学校図書館を利用した調べ学習に関連する授業を1回以上行い、調べる学習コンクールに参加できる作品まで仕上げる児童が70%を目指す。
③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	③ 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 既存の寄贈本や新規購入図書を受け入れ、登録作業を9月中に完了させる。
(充実分の予算で購入した本は11月中に完了させる。)
- ② 学校図書館で行う読み聞かせやブックトーク等の年間計画をボランティアと協力して4月中に完成させる。
- ③ 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭に置いた新規図書購入計画を作成する。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。
- ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。
- ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりに努める。
- ④ 学校図書館支援員に勤務日の20分休みに図書館を開館し、貸出・返却業務を行ってもらう。

【その他】

- ① 全学年児童、2冊貸し出しを可能とする。
- ② 4月に1年児童に対し、学校図書館オリエンテーションを行う。
- ③ 学校図書館支援員が勤務日には20分休みも学校図書館を開館し、貸出・返却を行う。
- ④ 各学級において、学校図書館を使った読書活動や探究活動(調べ学習など)の授業を総合的な学習と関連させながら年10回以上行う。
- ⑤ 本校のホームページの経営関連のページに、学校図書館基本計画の達成基準における達成状況を掲載する。
学校図書館の本の長期利用未返却児童に対し、学級担任や保護者の協力のもと速やかに返却させ、本の紛失や破損が極力ないよう呼びかけていく。